

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	つくし浅香		
○保護者評価実施期間	2025年 1月 17日		2025年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3件	(回答者数) 2件
○従業者評価実施期間	2025年 1月 17日		2025年 1月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5件	(回答者数) 3件
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 24日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曜日別で活動の内容を決めている。</li> <li>・毎月、ダンスの内容を変えている。</li> <li>・長期休暇時などは園芸活動や昼食作り、季節に合わせた遊びや創作活動などを行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改善が必要だと思う活動内容については、SNSや研修等から情報収集を行い、改善に努める。</li> </ul>
2	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連絡帳だけでなく、送迎時の申し送りや電話などでも保護者とこどもの様子の变化など伝えるようにしている。</li> <li>・学校での様子、自宅での様子などもミーティングノートを使用して、職員間で情報共有を行っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園や学校ともこどもの状況について情報を共有していきたいと考えているので、幼稚園や学校の行事など積極的に参加していく。</li> </ul>
3	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員が意見を言いやすいように、記入用紙を用意している。</li> <li>・にやりほっとやひやりほっとなど、職員1人ひとりその日感じたことを記入する用紙を用意している。</li> <li>・改善が必要だと感じたことについては話し合いをしながら業務改善につなげている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見を記入する用紙を提出している職員が固定化してきているため、職員全体が意見を共有しやすい場や仕組みを増設していく。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会があるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の行事に参加したり、公園に行った際に地域のこどもと関わることはあるが、幼稚園等との交流はできていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の行事には積極的に参加していく。</li> </ul>
2	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訓練については保護者を含めて行うことができていないのが現状。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアル等については再度周知を行う。</li> <li>・訓練については保護者や家族が参加しやすい日や時間帯を設定する。</li> <li>・訓練の様子を動画などで共有する。</li> </ul>
3	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基準の配置人数は満たしているが、一対一での対応が必要な場合に、もう少し職員がいれば安全に活動できると感じることもある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個室を作るなど、個別で過ごせる環境を増やしていく。</li> <li>・利用人数やこどもの状態に合わせて職員を配置できるよう、人材確保に努める。</li> </ul>